

取扱説明書

BASS  
AMPLIFIER

B100-115Ⅲ

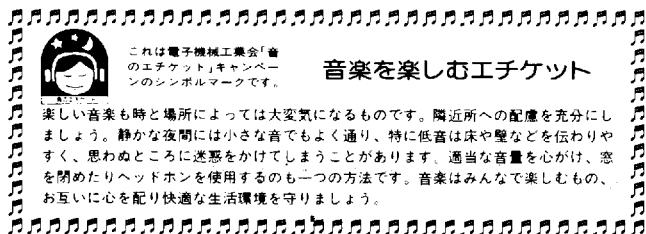
## ●ごあいさつ

このたびは、YAMAHAベースアンプB100-115IIIをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本機のすぐれた性能を十分に発揮させるとともに、長年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書をぜひお読みくださいますようお願いいたします。

## ●特長

- 大口径38cmのベース専用スピーカーを、バスレフエンクロージャーにマウント。  
指向性、低域の解像力、そして耐久性に優れ、100Wrmsのハイパワーが得られます。
- 入力部のトーンコントロールは、3バンドのアクティブイコライザーです。  
それぞれのバンドが独立しているため、他の帯域との干渉が殆どありません。
- 2組のパラメトリックイコライザーを内蔵しており、サウンドプログラムも自由自在です。  
フットスイッチとの併用により、ライブパフォーマンスにおいて、特にその威力を発揮します。
- ダイレクトボックスを使わずに、直接PAミキサーや、スタジオミキシングコンソールへの接続を可能にするバランス型出力端子を装備しています。
- フィルターネットワークを内蔵しているため、マルチアンプシステムによるセットアップが容易です。
- PRE AMP OUTやPOWER AMP INなど、様々なサウンド創りを可能にする入出力端子が豊富です。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

### 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

## ●ご注意

- 本機の電源電圧は国内仕様AC100V、50/60Hzです。
- 電源投入時やギターの接続時には、スピーカーの損傷を避けるため、VOLUMEを絞ってください。
- 雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離してご使用ください。
- ヒューズ交換の際には必ず当社規定のものをご使用ください。
- 本機に強い衝撃を与えないでください。また使用中の移動は避けてください。
- 湿気・結露・ほこりに充分注意して、安定した場所に設置してください。  
また、高温となる場所でのご使用を避けてください。
- パネルをベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することを避けてください。(変色等の原因となります。)お手入れは、必ず柔らかい布でからぶきしてください。
- リアパネルのAC OUTLETは250Wまで供給できます。これ以上の消費電力の機器には使用しないでください。

## ●仕様

定格出力	100W (8Ω、THD 10%)
スピーカー	JA3812 (38cm、8Ω) × 1
入力感度/インピーダンス	
INPUT	-20dB (77.5mV) / 1MΩ
POWER AMP IN	-10dB (245mV) / 20kΩ
出力レベル	
SPEAKER (8Ω)	100W
PRE AMP OUT (10kΩ)	-10dB (245mV)
HPF OUTPUT (10kΩ)	-10dB (245mV)
LPF OUTPUT (10kΩ)	-10dB (245mV)
BAL OUTPUT (600Ω)	+4dB (1.23V)
PHONES (8Ω)	-11dB (218mV)
ゲイン	
INPUT → SPEAKER OUT	70dB
INPUT → PRE AMP OUT	26dB
INPUT → BAL OUTPUT	56dB
POWER AMP IN → SPEAKER OUT	41dB
ノイズ*	
all volumes → min.	-50dB
VOLUME, TREBLE, MIDDLE, BASS → max.	-45dB
パラメトリックイコライザー	
LEVEL	±15dB
Q	0.35~3.0
FREQUENCY	50Hz~2.5kHz
PRESET LEVEL	±10dB
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	90W
最大外形寸法 (W×H×D)**	568×785×357mm
重量**	42.8kg
付属品	フットスイッチ ビニールカバー

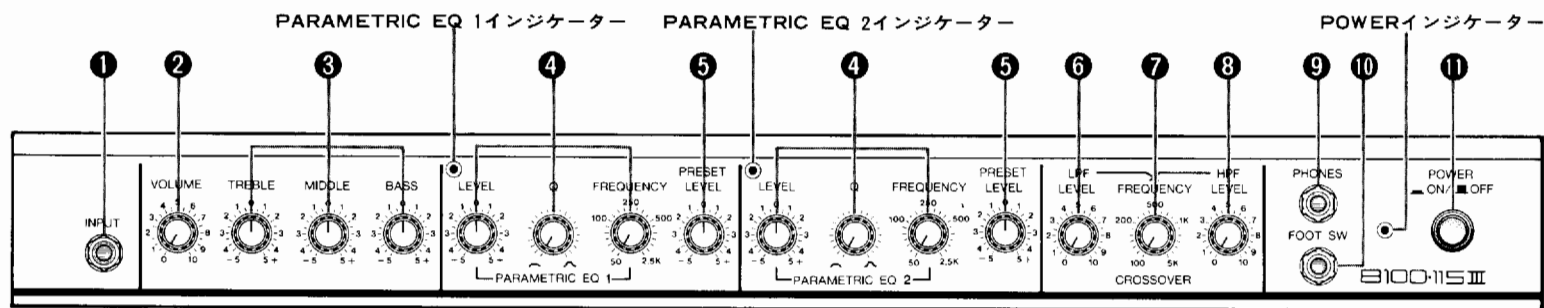
\* @ 12.7kHz、6dB/oct. フィルターで補正

\*\* キャスター含む

● 0dB=0.775Vr.m.s

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ●コントロールパネル



## ① INPUT

ベースギターを接続します。

## ② VOLUME

音量をコントロールするつまみです。

## ③ TREBLE、MIDDLE、BASS

それぞれのつまみで、高域(7kHz基準)、中域(300Hz中心)、低域(70Hz基準)の各レベルをコントロールします。

各バンドを独立制御できるため、他の帯域への影響が殆どありません。

つまみ位置センター“0”でフラット、時計方向“+”に回すほどブースト、反時計方向“-”に回すほどカット効果が得られます。

## ④ PARAMETRIC EQUALIZER

2組のパラメトリックイコライザーを装備しています。

両方を同時に使用して、2ポイントのピークやディップをもたせたり、それぞれを曲の進行にあわせて、切り替えて使用することができます。

EQ 1 およびEQ 2 のON/OFFは、付属のフットスイッチで行ない、ONされたイコライザーのインジケーターが点灯します。またフットスイッチを使用しない(FOOT SW端子に接続しない)場合には、常にイコライザーがONの状態になります。

## ● LEVEL

FREQUENCYつまみで設定したイコライジングポイントを中心に、最大±15dBの範囲でブーストまたはカットします。

つまみ位置センター“0”では、Qおよび、FREQUENCYつまみのセッティング状態に関係なく、フラットな特性となり、効果は表われません。

つまみを時計方向“+”に回すほどピーキング効果が強くなり、反時計方向に回すほどディッピング効果が強くなります。

## ● Q

イコライジングする周波数帯を広くとるか狭くとるかを決めるつまみです。

時計方向“ハ”に回すほどイコライジングする音域が狭くなり、反時計方向“ヘ”に回すほど音域が広がります。

**● FREQUENCY**

イコライジングする周波数の中心を決めるつまみです。

イコライジングポイントは、50Hz～2.5kHzの間で連続的に設定できます。

**● PRESET LEVEL**

それぞれのパラメトリックイコライザー (P. EQ 1, P. EQ 2) に設けられたつまみで、各パラメトリックイコライザーを ON にした時の出力レベルをコントロールします。 ● 演奏を行なう前に、フットスイッチを切り替えて、ONにした時とOFFにした時の音量差を調節しておきます。

**● LPF LEVEL**

LPF OUTPUT端子への送出レベルをコントロールするつまみです。

LPF OUTPUT端子へ送出される信号は、CROSSOVER FREQUENCYつまみで設定された周波数以下の成分です。

**● CROSSOVER FREQUENCY**

LPF 出力とHPF 出力のクロスオーバー周波数(カットオフ周波数)を設定するつまみです。設定範囲は、100Hz～5 kHzです。

クロスオーバー周波数は、使用するスピーカーの特性に合わせてバランスをとってください。

**● HPF LEVEL**

HPF OUTPUT端子への送出レベルをコントロールするつまみです。

HPF OUTPUT端子へ送出される信号は、CROSSOVER FREQUENCYつまみで設定された周波数以上の成分です。

**マルチアンプシステム**

本機はフィルターネットワークを内蔵しており、出力信号を高音と低音に分け、ステレオパワーアンプのL・R、又はモノラルパワーアンプ2台に別々に信号を送り出し、最終的に2wayのスピーカーシステムを能率よくドライブさせることができます。

このようにして出来上がったシステムをマルチアンプシステムといいます。

なお、マルチアンプシステムを組まない(LPFP OUTPUT, HPF OUTPUTに何も接続しない)場合には、LPF LEVEL, CROSSOVER FREQUENCY, HPF LEVELのつまみは使用しません。

**● PHONES**

ローインピーダンスタイプのヘッドホンをご使用ください。

ヘッドホンを接続しても、スピーカーから音は出ます。スピーカーの音を切りたいときは、リアパネルのSPEAKER端子に接続されているプラグを抜いてください。

**● FOOT SW**

付属のフットスイッチを接続します。

フットスイッチを使用すると、演奏をしながら足元でパラメトリックイコライザーのON/OFFができます。

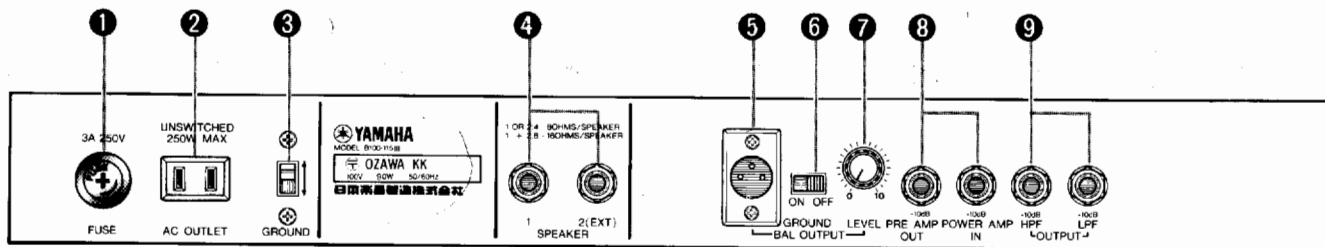
なおフットスイッチは、片足でEQ 1とEQ 2を同時に踏むことができるため、瞬時にEQ 1とEQ 2を切り替えることもできます。

※フットスイッチは必ず付属品をご使用ください。他のフットスイッチをご使用になりますと、故障の原因となります。充分ご注意ください。

**● POWER SW**

電源スイッチです。

## ●リアパネル



## ① FUSE

ヒューズ交換の際には電源プラグをコンセントから引き抜いた後、当社規定のものと交換してください。

なおご使用中におけるヒューズの断線は、ご使用上のミスのほか故障などの原因によるものです。お買い上げ店もしくは最寄りのサービスステーションにご相談ください。

## ② AC OUTLET (UNSWITCHED)

非連動型コンセントです。消費電力250W以下の機器に使用できます。

## ③ GROUND SW

AC電源のアースの極性を切り替えるスイッチです。

ハム・雑音が大きき場合、このスイッチを切り替えれば、これらが軽減することがあります。

## ④ SPEAKER 1・2

SPEAKER 1と2端子は内部で並列に接続されており、SPEAKER 1には内蔵スピーカーが接続されています。

SPEAKER 1および2のどちらか片方を使用する場合には4～8Ωのスピーカー、SPEAKER 1および2の両方を使用する場合には、それぞれの端子に8～16Ωのスピーカーを接続してください。

※誤った接続をしますと故障などの原因となります。

## ⑤ BAL. OUTPUT

PAミキサーやレコーディングミキサーへ、ダイレクトに信号を送り出すための平衡型出力端子です。

規定出力レベル及び適合インピーダンスは、+4 dB/600Ωです。本機では、1番：グランド、2番：ホット、3番：コールドの接続型式を採用しています。

## ⑥ GROUND ON/OFF

BAL. OUTPUT端子のアースライン(1番：グランド)をON/OFFするスイッチです。通常はONで使用しますが、アースのループによりハム等が発生した時、このスイッチをOFFにすれば、これらが軽減することがあります。

## ⑦ BAL. OUTPUT LEVEL

BAL. OUTPUT端子への送り出しレベルを、コントロールするつまみです。

## ⑧ PRE AMP OUT/POWER AMP IN

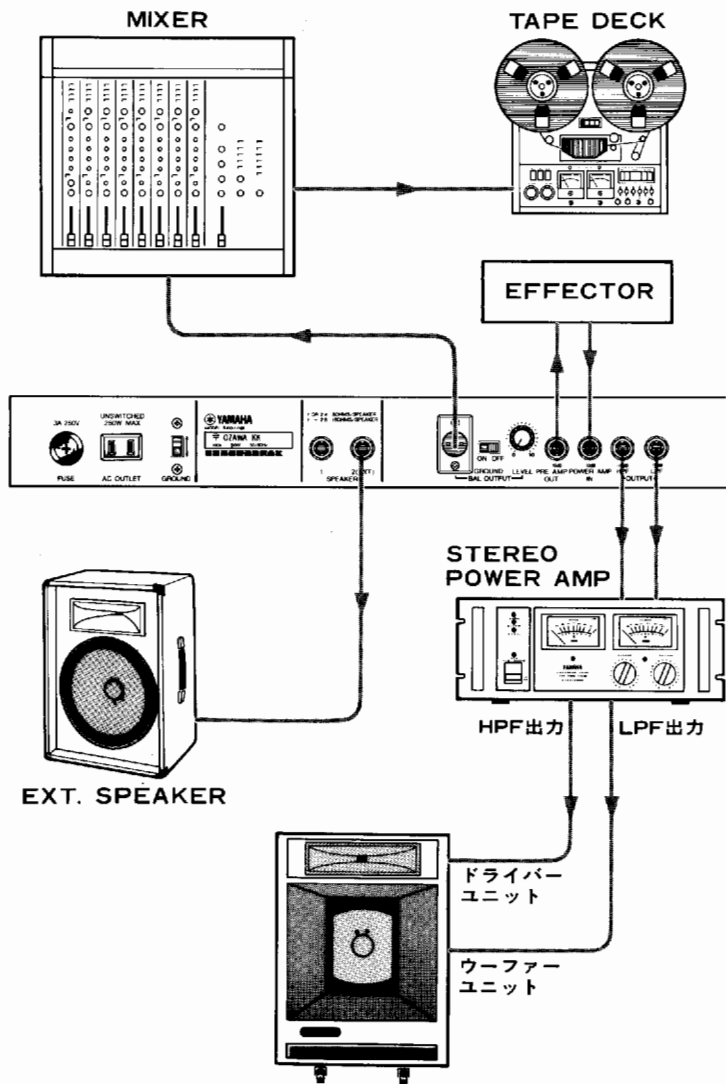
-10dBの出力及び入力端子です。

POWER AMP IN端子にプラグを差し込むと、内部回路が切れ、POWER AMP IN端子に接続された信号が、後段へ送られます。両端子の間にエフェクターを挿入したり、外部のプリアンプでプリコントロールした信号をPOWER AMP IN端子に入力するなど、あらゆる使い方ができます。

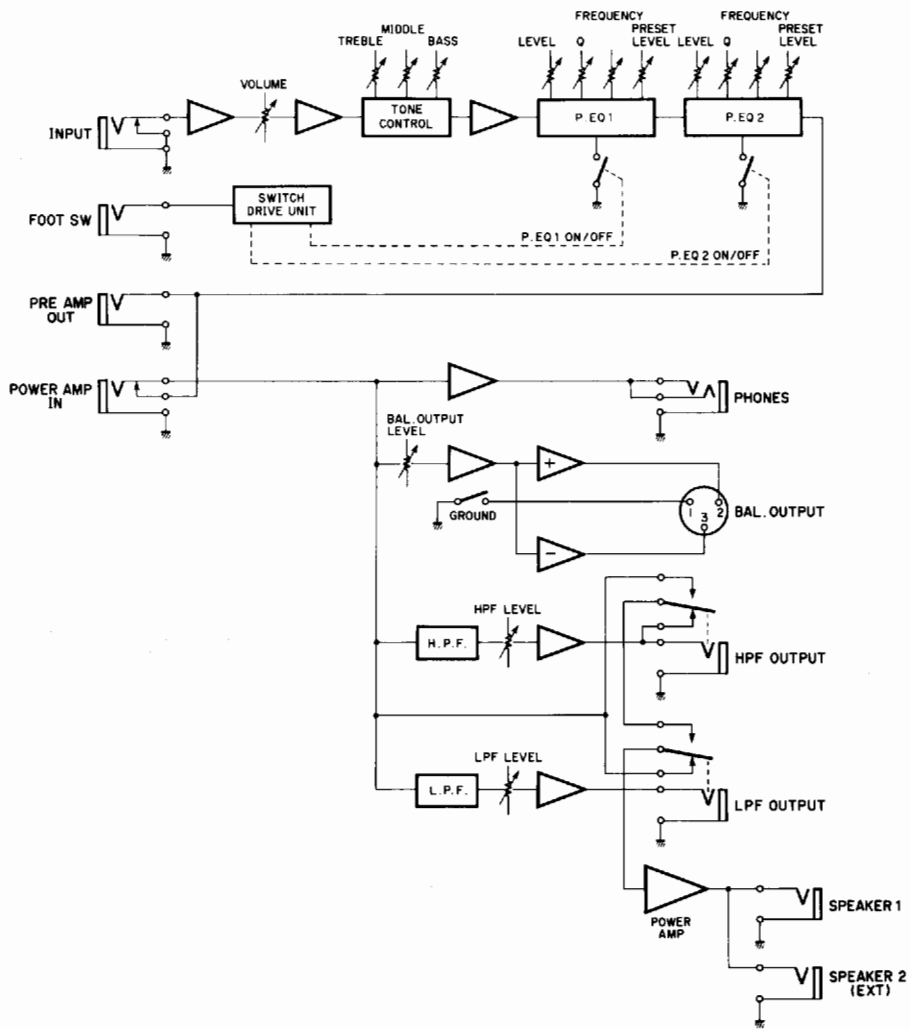
## ⑨ HPF OUTPUT/LPF OUTPUT

ステレオパワーアンプ又はモノラルパワーアンプ2台を使用して、2wayスピーカーを能率よくドライブさせるための端子です。またLPF OUTPUT端子のみを使用すれば、外部機器に低音を受け持たせ、本機で高音のみをドライブさせることもできます。

● 接続例



● ブロックダイアグラム



## ●サービスのご依頼について

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

### ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

### ●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1ヶ年間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

### ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂戴場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器電音サービスセンターにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

そのほかご不明の点などございましたら、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

本社・工場	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL 0534(65)1111*
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル6F TEL 03(574)8692
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL 03(572)3131
渋谷店	〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7 新大宮ビル内 TEL 03(426)5441
池袋店	〒127 東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL 03(981)5731
桜塚店	〒170 東京都豊島区東池袋1-30-1 フランススイツクススポーツカーテン内 TEL 03(983)9914
ヤマハ 5Fセンター	〒180 武蔵野市吉祥寺本町1-10-1 いなのやビル内 TEL 0422(27)7182
横浜店	〒220 横浜市西区南幸2-15-13 TEL 045(31*)1201
千葉店	〒280 千葉県千葉港2-1 千葉中央コミュニティセンター TEL 0472(47)6613
新潟店	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル TEL 0252(43)4311
大阪支店	〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館(8-9階) TEL 06(251)1111
心斎橋店	〒542 大阪市南区心斎橋筋2-29 TEL 06(211)8331
神戸店	〒651 神戸市中央区方町通2-7-3 TEL 078(32*)1191

高松店	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL 0878(51)7777-(22)3045
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-23 TEL 052(201)5141
名古屋店	〒460 名古屋市中区錦1-18-29 TEL 052(201)5154
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL 092(472)215*
福岡店	〒810 福岡市中央区天神1-11 福岡ビル内 TEL 092(721)7621
小倉店	〒802 北九州市小倉北区魚町1-1-1 TEL 093(531)4331
北海道支店	〒054 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター TEL 011(512)3611
札幌店	〒054 札幌市中央区南十条西1丁目4番地 ヤマハセンター TEL 011(512)5124
仙台支店	〒980 仙台市大町2-2-10 TEL 0222(22)3641
仙台店	〒980 仙台市一番町2-6-5 TEL 0222(22)8516
広島支店	〒730 広島市中区基町13-13 平和生命広島ビル内 TEL 082(221)4122
広島店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL 082(249)4511
浜松支店	〒430 浜松市政治町321-6 TEL 0534(54)4116
浜松店	〒430 浜松市政治町321-6 TEL 0534(54)4325

## ●電気音響製品サービス拠点

(お客様ご相談窓口) (お預り修理窓口)

東京電音サービスセンター	☎044(434)3100	〒211 川崎市中原区木月1184
新潟電音サービスステーション	☎0252(43)4321	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F
大阪電音サービスセンター	☎06(877)5262	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
四国電音サービスステーション	☎0878(51)7777-(22)3045	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内
名古屋電音サービスセンター	☎052(652)2230	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター
九州電音サービスセンター	☎092(472)2134	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
北海道電音サービスセンター	☎011(781)3621	〒065 札幌市東区本町1条9-3
仙台電音サービスセンター	☎0222(96)0249	〒983 仙台市御前5-7 仙台卸商共同配送センター3F
広島電音サービスセンター	☎082(874)3787	〒731 01 広島市安佐南区紙屋町西原2205-3
浜松電音サービスセンター	☎0534(56)9211	〒432 浜松市東伊場2-13-12

(本社)

営業技術課電音サービスセンター ☎0534(65)1111 〒430 浜松市中沢町10-1

